

保存版

函館市洪水ハザードマップ

松倉川・鮫川・常盤川・石川・久根別川

浸水想定区域図



まずは、確実な情報収集が大事。その後に迅速な対応。

このハザードマップは、台風や大雨等による河川のはん濫や土砂災害から、身を守るために避難行動や危険箇所について、お知らせするために作成したものです。災害時の情報収集や災害の特徴について正しい知識を身につけることは、適切な避難行動につながることから、日頃よりそれぞれの災害の危険性について、よく理解しておきましょう。

このマップで着色されていない区域も雨の降り方によっては、安全とは限りません。危険を感じたらすみやかに身を守る行動をしてください。



事前の心得

- 日頃から自宅周辺で予測される災害の危険性を確認しましょう。
- 災害や避難に関する情報の入手方法を確認しましょう。
- 家族の安否確認方法、避難場所や避難経路等を話し合いましょう。
- 地域で実施される避難訓練等に積極的に参加しましょう。
- 避難情報が出された場合には、すみやかに避難してください。

気象警報と注意報の種類

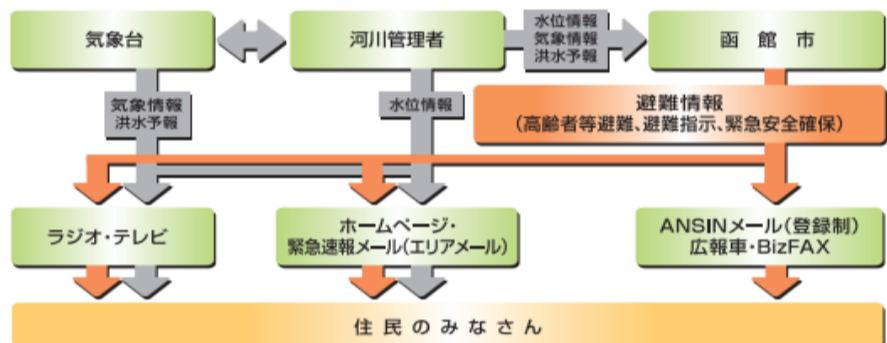
気象庁は、大雨や洪水などの気象情報によって災害が起こるおそれのあるときに「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」を発表して、注意や警戒を呼びかけます。

危険度	種類
高	大雨特別警報
大雨警報	重大な浸水害や土砂災害が発生するおそれのあるとき
大雨注意報	浸水害や土砂災害が発生するおそれのあるとき
洪水警報	河川の増水やはん濫、堤防の損傷や決壊による重大な浸水害のおそれのあるとき
洪水注意報	河川の増水やはん濫、堤防の損傷や決壊による浸水害のおそれのあるとき

雨の強さと降り方				
やや強い雨 10以上~20未満	強い雨 20以上~30未満	激しい雨 30以上~50未満	非常に激しい雨 50以上~80未満	猛烈な雨 80以上~
雨の音で話し声が良く聞き取れない。	ワイパーを遠くしても見づらい、倒溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、けが崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する、土石流が起こりやすい。	多くの災害が発生する。
(1時間雨量:mm)				
				雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

洪水情報の伝達ルート（土砂災害情報も同じ）

●異常気象の情報や避難情報等は、下図の伝達ルートで住民のみなさんへお知らせします。また、情報がなくても、異常気象（雷雨や異常な降雨）を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、すみやかに避難しましょう。



避難行動ガイド

避難とは・。

避難は、災害から命を守るために行動であり、避難行動には次のような方法があります。

- 1 指定緊急避難場所への移動。
- 2 浸水想定区域等内の自宅などから移動し、安全な場所への避難。
(公園、親戚や友人の家など)
- 3 近隣の強固で高い建物などへの移動。
- 4 建物内の安全な場所での待避。
(家屋内での垂直避難)
やむを得ず、家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として、洪水対策では建物の2階以上の高いところへ、土砂災害対策には斜面と反対方向の高い階への移動が有効です。

大雨に関する気象情報とみなさんの行動

